



平成28年11月9日

各 位

会社名 株式会社イワキ
代表者名 代表取締役社長 藤中 茂
(コード番号：6237 東証第二部)
問合せ先 専務取締役 松田 健二
(TEL 代表 03-3254-2931)

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異、
平成29年3月期通期連結業績予想の修正、平成29年3月期末配当予想の修正、
及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の業績予想数値と実績値との差異についてお知らせ致します。また、本日開催の取締役会において平成29年3月期通期連結業績予想の修正、当該修正に基づく年間配当金額予想の修正を決議しました。これに伴い剰余金の配当（中間配当）を以下のとおり決議しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異
(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	12,449	666	889	608	81円34銭
実 績 値 (B)	12,394	771	1,086	779	104円12銭
増 減 額 (B - A)	△54	104	197	170	
増 減 率 (%)	△0.4	15.7	22.2	28.0	

(注)前期第2四半期において四半期連結財務諸表は作成していないため、参考実績は記載しておりません。

2. 平成29年3月期の連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成28年5月13日発表）	25,506	1,722	2,152	1,588	212円20銭
今回修正予想（B）	24,871	1,594	2,067	1,527	204円04銭
増減額（B－A）	△635	△128	△85	△61	－
増減率（％）	△2.5	△7.4	△4.0	△3.9	－
ご参考：前期実績 （平成28年3月期）	24,830	1,533	1,991	1,527	223円99銭

3. 差異及び修正の理由

（1）第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異の理由

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の実績値につきましては、為替相場が円高に推移したことから売上は減少したものの、経費の見直しにより営業利益以降の段階利益を押し上げ、加えて過去に取得した外貨建て債券の償還等による為替差益が発生し、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回る結果となりました。

（2）通期業績予想数値の修正

平成29年3月期通期の連結業績予想数値につきましては、売上高は、為替相場が当社想定レートより円高で推移し、海外子会社の売上高が減少（目減り）したこと等により、前回発表予想を635百万円（△2.5%）下回り、営業利益以降の段階利益も予想を下回る見通しとなりました。また、同様に円高の影響で、海外合弁会社からの利益も減少する見通しのため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正致します。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、期初は1米ドル120円、1ユーロ130円と想定しており、第3四半期以降は1米ドル98円、1ユーロ108円に変更しております。

4. 期末配当予想の修正及び剰余金の配当（中間配当）

（1）期末配当予想の修正の内容

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	33円90銭	63円90銭
今回修正予想	—	32円00銭	62円00銭
当期実績	30円00銭	—	—
前期実績 (平成28年3月期)	0円00銭	78円80銭	78円80銭

(注) 前期の期末配当金には、上場記念配当11円を含んでおります。

（2）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年5月13日公表)	前期実績 (平成28年3月期中間)
基準日	平成28年9月30日	同左	平成27年9月30日
1株当たり配当額	30円00銭	33円90銭	0円00銭
配当金総額	224百万円	—	0円
効力発生日	平成28年12月1日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

（3）理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営上の重要な課題であると認識しており、利益剰余金の配当につきましては、将来の事業展開に備え、財務体質をいっそう強化するために必要な内部留保を確保しながら、継続的、安定的な配当を実施することを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安として配当に充てる方針としております。

当期の配当につきましては、欧州地区の好調な売上や製品の競争力向上などにより業績は安定しておりますが、円高の影響等により、当初業績予想を下回っているため、1株当たりの年間配当金額予想は、上記配当方針を踏まえ、配当性向30.4%の年間62円00銭とさせていただき、中間配当は30円00銭と決議致しました。

なお、期末配当金につきましては、平成29年6月開催予定の当社第62期定時株主総会に付議いたします。

(注) 予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上